

しものせき Port News

平成31年3月
Vol.10

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

Contents

国際クルーズ拠点港に向けて

祝！国際クルーズ拠点港に選定されました！！

未来の土木技術者

インターンシップ

官民連携による取り組み

トピックス

新造船「UTOPIA」が就航

「平家の一杯水」を近くで見られます



下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

祝

祝



国際クルーズ拠点港に向けて

国際クルーズ拠点港に選定されました！！

平成31年3月1日、国土交通省により下関港が国際旅客船拠点形成港湾（以降、国際クルーズ拠点港）に選定されました。今後は、国、市、連携船社（MSCクルーズ社）が連携し、国際クルーズ拠点の形成に向け、必要なハード、ソフト両面の取り組みを進めていくことになります。

これにより、下関港に長期的かつ安定的にクルーズ客船の寄港が見込め、高い経済波及効果のほか、国際交流の促進や関門地域への新たな観光客の呼び込みなどが期待されます。

【計画の概要】

応募者	下関市、MSCクルーズ社
国際クルーズ拠点形成の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・下関の優位性を活用した東アジアクルーズの拠点化 ・日本起点のクルーズの寄港地 ・フライ&クルーズの寄港地
寄港回数目標	運用開始年（2023年）：120回 目標年（2035年）：180回

係留施設の利用に関する考え方

・MSC社は旅客施設の整備・所有をすることにより、クルーズ船専用岸壁について、優先的な利用を認める。

優先的な利用予約できる日数：毎年最大100日

優先的な利用予約の存続期間：30年間

優先的な利用予約の実施時期：

係留施設を利用する日の前々年の1月1日から同年6月30日までの間に、係留施設の利用予約を行い、確定させる。

・係留施設を利用する日の前々年の7月1日以降の利用予約については、MSC社と他のクルーズ船社を平等に取り扱う。

■新港地区

○MSCクルーズ社が、東アジアの大型クルーズ船の受入拠点としての利用を予定。

◆岸壁（計画）＜国＞

20万トン級対応（計画）

◆旅客ターミナル（計画）＜MSC社＞

CIQ施設を含む旅客ターミナルを整備予定。

◆ふ頭用地＜下関市＞



下関港 新港地区

※国際クルーズ拠点港とは、港湾管理者が連携クルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認めるとともに、連携クルーズ船社が旅客施設を整備することで、官民が連携して国際クルーズ拠点の形成を図るものです。

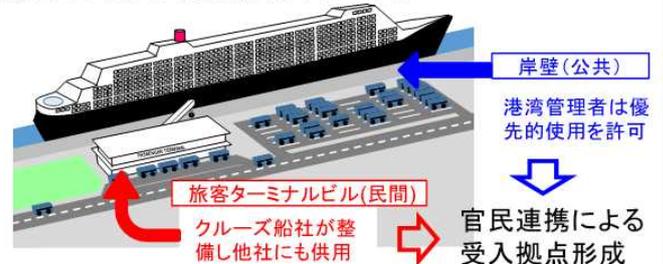
【MSCスプレンドイダ（2018年に寄港）】
 総トン数137,936トン 全長333.3m
 乗客定員3,274人



※下関市提供

【官民連携によるクルーズ拠点の形成の概要】

【官民の連携による拠点形成のイメージ】



【岸壁の優先使用のイメージ】

・A社（協定船社）による予約（1年半程度前）

月	火	水	木	金	土	日
	A社		A社		A社	

・A社の予約完了後、その他の社が予約

月	火	水	木	金	土	日
B社	A社	C社	A社		A社	

未来の土木技術者

インターンシップ

平成31年2月13日～15日の3日間、山口県立下関工科高等学校1年の2名の生徒が、下関港湾事務所で水質調査の体験や工事現場を見学し、港湾・海岸における社会資本整備を実践的に学びました。

生徒からは、「長州出島のガントリークレーンの大きさに驚いた。」「実際に現場で測量の体験ができて良かった。」「施設を点検・補修することで、住民の安全安心に寄与することが分かった。」などの感想が述べられました。



【水質調査を体験する生徒(長州出島)】



【工事現場を見学する生徒(西山地区)】

官民連携による取り組み

一般社団法人 日本埋立浚渫協会九州支部と九州地方整備局港湾空港部は、若手技術者の技術力向上・スキルアップを目的に、共同発表会を開催しています。

平成31年2月12日に開かれた発表会では、協会に所属する民間企業の若手技術者29名と整備局の若手職員30名が業務成果発表や仕事への取り組み状況、職場環境などについて、幅広く意見交換を行いました。

当事務所から参加した林技官(入省2年目、25歳)は、同世代の技術者の考えや女性技術者の苦勞などを聞き、「これまで経験することの無い意見などに触れることができ非常に有意義だった」と感じるなど、仕事へのさらなるモチベーション向上やスキルアップにつながった模様です。



【当事務所職員の林技官による発表の様子】



【意見交換会の様子】

トピックス

新造船「UTOPIA」が就航

下関港(細江埠頭)においては、下関～蘇州(中国太倉港)を結ぶ外貿定期RORO航路が就航しています。平成31年2月10日から、これまで利用されていた「UTOPIA IV」に代わり、新たに「UTOPIA」が就航しました。新造船は、積載能力がアップするなど多くの機能がアップグレードされ、より一層充実したサービスが提供可能となっているようです。



【UTOPIAの規格】

総トン数 16,408トン 全長144.9m
積載能力150TEU



【UTOPIA IVの規格】

総トン数 14,250トン 全長145.61m
積載能力120TEU

※蘇州下関フェリーHPより抜粋

「平家の一杯水」を近くで見られます

下関港海岸の高潮対策として、現在、前田地区において、護岸整備を進めています。

工事に際しては、当該地区にある史跡「平家の一杯水」に配慮するとともに、階段を新たに設置しました。

今般、当該地区の一部が完成し、平成31年3月30日より「平家の一杯水」を再び近くで見ることが可能となります。

※平家の一杯水

壇ノ浦の合戦で肩と足に深手を負い、命からがら岸に泳ぎ着いた平家の武将が、この場所で小さな湧き水を見つけ、喉をうるおそうとすったその水は真水でした。

しかし、夢中になって2度目を口にしたところ真水が塩水に変わっていたという伝説が残されており、現在は鳥居が建てられています。



【平家の一杯水】

★STU48の専用劇場となる船上劇場「STU48号」の講演予定地として、下関港あるか/ぼーと岸壁が選ばれました。(平成31年2月25日)



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

